

／岡山市発／

協働で社会をよくする仕組み、紹介マガジン

協働 通信

Vol.5 2020.8

- おかやま協働のまちづくり賞
- 区づくり推進事業
- 持続可能な地域づくりの担い手育成事業



おかやま協働のまちづくり賞



◇おかやま協働のまちづくり賞とは？

住民自治組織・NPO・企業・学校・行政などの多様な組織が協働して実施する、社会課題解決のための取組を表彰し応援するもので、毎回テーマを変えて様々な取組を募集しています。インターネット投票の実施など、市民のみなさんの声を反映させながら入賞取組を決定します。



◇まちづくり賞の流れ

募集 (6~7月頃)

テーマに沿った協働の取組を募集します。



インターネット投票 (8~9月頃)

市民のみなさんに参加いただける、インターネット投票を実施します。



審査 (10月頃)

岡山市協働推進委員による審査を行い入賞取組を決定します。



表彰式、報告 (11月頃)

表彰と共に、市民のみなさんに向けた取組報告を行います。



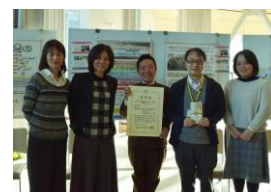
◇第1~3回のテーマと大賞取組

第1回
(2016年度)

笑顔と
場づくり

病気の子どもたちが安心できる居場所づくり 代表団体／NPO法人ポケットサポート

病気を抱える子どもたちに寄り添い、不安やストレスを忘れて前向きに治療や勉強に臨むための学習支援や交流イベントを開催しています。



第2回
(2017年度)

楽しんで年を
重ねられる
社会のために

『お帰りなさい』今日も元気に会陽の里安全パトロール隊 代表団体／養護老人ホーム岡山市会陽の里

高齢化でパトロール隊の担い手が不足している地域の事情から、施設入所者によるパトロール活動を始めました。施設入所者の社会参加の機会にもなっています。



第3回
(2018年度)

やりがいと
豊かな暮らし

西日本豪雨災害支援ボランティア『自由あそびのひろば』 代表団体／助け合うお母さんの会

豪雨災害で被災した子育て世代の親子の支援のため、同じ子育て世代の約60人のママたちが「自由あそびのひろば」を開催しました。



おかやま協働のまちづくり賞では、地域の協働の取組を表彰という形で応援していますが、活動への優劣をつけるものではありません。多くの市民に取組を伝えると共に、取組を知った市民がヒントを得て自身の地域での取組に活かしていくことや励みを得ることを大切にしています。

◇第4回おかやま協働のまちづくり賞 応募取組紹介 (2019年度)

テーマ

すべての人に健康と優しさを SDG3：すべての人に健康と福祉を
 「健康で自分らしい生き方をしたい」市民だれもの願いです。健やかな成長を支える取組、健康寿命の延伸のための取組、自分らしい生活を送れるように地域で支え合う取組を募集しました。

大賞

なかまちーず／なかまちーず

中区の住民が健康で、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指して、保健・医療・介護・福祉の連携や普及啓発活動などに取り組んでいます。関係する組織が「チーズ」のように溶け込み、巻き込みながら活動を広げています。



入賞

『注文を間違えるレストラン・ルネレストラン』
 ：認知症の方を優しく支えられる地元高校生を育てよう！／地域包括ケアみつネット
 地元高校生が認知症サポーターとなり「ルネレストラン」を開店しました。



おかえりこども食堂カフェふらっと
 ／おかえりこども食堂
 多世代が集まるみんなの食堂・居場所として『おかえり子ども食堂』と『カフェふらっと』を運営します。



とみやま助け合い隊 ／とみやま助け合い隊

地域住民が抱える日常生活上の困り事解決を支援するため、地域のサポーターが活動しています。



地域丸ごと健康づくり
 ／竜之口学区コミュニティ協議会
 参加しやすいプログラムで声を掛け合い、助け合い「地域ぐるみの健康づくり」の活動をしています。



奨励賞

福泊すこやかサロン ／福泊すこやかサロン

高齢者の居場所づくりと、日常の見守りをします。



光生病院と健康まちづくり
 ／社会医療法人光生病院
 連合町内会と協働して健康意識を深める取組を行います。



3世代キラリ交流会
 ／3世代キラリ交流会実行委員会
 子ども・大人・お年寄りが催しを通じて交流を図ります。



芳泉学区ラジオ体操の会
 ／芳泉学区ラジオ体操の会
 学区住民が一堂に会してラジオ体操と清掃を行います。



※応募代表団体のみ記載しています。

◇第5回おかやま協働のまちづくり賞

□テーマ「地域と食と未来」

「食」は私たちが生きるためのエネルギーの源です。食べることは、良く生きることにつながっています。
 食を通じて子どもたちの健やかな成長を支える取組、食卓を支える農業や漁業などを持続可能にする取組などを募集しました。

□インターネット投票（8月～9月）

インターネットの結果は審査の加点となります。
 おかやまNPO・ボランティアサイト「つながる協働ひろば」に投票コーナーを設置します。

□表彰式・報告会

令和2年11月に開催する市民協働フォーラムにて、受賞取組の表彰を予定しています。



投票に参加して協働の取組をみんなで応援しよう！！



区づくり推進事業

— 地域における課題解決型の取組を支援する

◇区づくり推進事業「地域活動部門」とは？

町内会などの地域住民組織をはじめ、NPO法人やボランティア団体、学校・企業等の多様な組織が手をとりあい、地域の課題を解決して、より暮らしやすい地域をつくるための継続的な取組を支援する補助制度です。区民が自ら解決のために活動することで、地域の課題解決の力を育て、持続可能な地域づくり、区のまちづくりを推進することが目的です。



◇事業の流れ

- ①事業の全体像を伝える**説明会**を開催します。**事前相談**も受け付けます。
- ②**助成申込書**を作成し、期日までに市民協働企画総務課に提出します。
- ③**各区審査会**で事業説明を行い、審査員の審査により事業実施の可否が決まります。
- ④事業決定後、事業を**実施**します。1期の取組では、途中で**中間状況調査**があります。
- ⑤**事業報告書**を作成し、期日までに市民協働企画総務課に提出します。

応募機会が2回あります。活動時期などに合った応募時期を検討できます。



区づくり推進事業により、町内会だけではできないような広報活動ができて認知が広がりました。多くの人に活動を知ってもらえたことが励みになったと感じています。

また、事業の実施は、会議録の作成や会計処理などの事務体制に磨きをかけることにつながりました。これらの積み重ねで、自立して事業を実施できる組織へと発展できました。

◇活動の目的

活動目的を以下の4つに分けています。これにより、区づくり推進事業の取組を通じて目指す目的を明確にします。複数の分野に関わる事業を実施することもあります。

ア) 地域課題の解決

地域の「困った」「なんとかしたい」を解決するための活動

イ) 地域課題の掘り起こし

地域が「何に困っていて」「何が原因なのか」を見出すための活動

ウ) 地域計画づくり

地域活性化のための計画づくりなど、地域の未来を描く活動

エ) 課題解決型の地域組織づくり

地域活動に参加できるしくみづくりなど、活動体制をつくる活動

▼ 事業目的別 ・ 区づくり推進事業取組事例 ▼

課題解決 地域防災力の向上～災害犠牲者を出さない～ ／富山学区連合町内会

- 目的
災害犠牲者を出さない防災活動の実施
- 事業内容
 - ・災害時の行動指針「マイタイムライン」の作成
 - ・災害や要配慮者への理解を深める講習会等の実施
 - ・避難場所の再検討や連絡網の整備
 - ・全世帯向け防災アンケートの実施 など



掘り起し 石井十次に学ぶ会 ／石井十次に学ぶ会

- 目的
石井十次の精神に学んだ活動を実施し、ゆかりの地に相応しいコミュニティを築く
- 事業内容
 - ・ゆかりの地の保全活動
 - ・小学校、福祉・公共施設等での普及活動
 - ・他県のゆかりの地との交流
 - ・出版事業 など

組織づくり 操明学区防災フロント(最前線)事業 ／操明学区連合自主防災会

- 目的
地域防災の担い手育成及び自主防災会の基盤整備を図る
- 事業内容
 - ・操明学区独自のマニュアル作成
 - ・要配慮者の円滑な避難のための研修・訓練
 - ・避難受入体制の見直しと体制確立 など

課題解決 御南和やかサロン ／NPO法人岡山市子どもセンター

- 目的
子育て世代の親子の交流の場づくり及び地域の多様な世代の人が支え合う地域づくり
- 事業内容
 - ・多世代が交流できるサロンの運営
 - ・子ども・地域づくり・遊びに関する情報発信
 - ・サロン運営に関わるリーダー研修 など

地域計画 浮田ふるさと再発見事業／亀山城跡保存会 (～平成28年度まで地域計画、以降は課題解決)

- 目的
亀山城を地域の歴史遺産として継続的に保存し、後世に引き継ぎ、地域おこしの一翼を担う
- 事業内容
 - ・「亀山城跡のしおり」を活用した広報活動
 - ・歴史講演会の開催
 - ・木工教室、プレーパーク、歴史教室等の開催
 - ・亀山城跡広場の伐採・清掃 など



ESD・市民協働推進センターでは、区づくり推進事業〔地域活動部門〕の相談をお受けします。

区づくり推進事業を利用したい方は予めご相談ください。目的の整理や事業計画などを、一緒に考えましょう。



岡山ESDプロジェクト

—持続可能な地域づくり担い手育成事業



岡山ESDプロジェクトとは、岡山地域において、ESDに関する取組を行っている関係機関や組織等の連携を強化して、岡山地域の特性に応じた効果的なESDを推進することにより、「持続可能な社会づくり」に幅広く広域的に貢献していく活動です。

「持続可能な地域づくりの担い手」を育成することを目的に岡山ESD推進協議会が実施する2つの事業を紹介します。

Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育

◇ESDコーディネーター養成研修

ESDコーディネーター養成研修とは？

ESDの推進には、グローバルな視点を持ちつつ、地域の課題解決に向けた学び合いや活動の場の企画・実施を通して様々な人や団体をつなぐESDコーディネーターの活躍が求められています。

研修では、コーディネーターに必要な考え方やスキルを3回の集合研修と個別相談会で学びます。

◎研修のねらい

わかる 企画づくりのコツが掴める

つくる 企画の目的や背景が明確になる

つながる 多様な層の参加が増える

◎研修の流れ

ESD・SDGsの基本
企画の基礎の学び

企画書づくりに
関する個別相談

グループで共有し
ながら企画書作成

企画書発表と
フィードバック

こんな人が参加しています！

公民館職員や市民活動団体スタッフ、学生や企業のCSR担当者など、持続可能な地域づくりのために、多様な組織の連携促進・協働事業の企画運営など、コーディネート役割を担っている人や、将来その役割を担う人が参加しています。

これまで5年間に約100名が受講しました。ESDやSDGsに関する理解を深め、企画立案のノウハウを学んだ受講者が、地域で多くの人との協働による企画を実施するなど、持続可能な地域社会の実現に貢献しています。



研修プログラムを修了すると、修了証が贈呈されます。

参加者の声



ESDやSDGsの学びを地域や社会の中で活かす場があることがわかりました。

コーディネーターとしての意識を高め、自信を持って実行し、模索していきたいです。



【令和2年度参加者募集中】ESDコーディネーター養成研修 ～SDGsを視野に入れた地域づくりのために～

日程：1回目 令和2年11月6日(金) 場所：岡山市勤労者福祉センター
個別相談会 11月27日(金) 定員：20名程度
2回目 12月4日(金) 費用：無料
3回目 令和3年1月29日(金) 締切：令和2年10月2日(金)

詳細はSDGs・ESD推進課のホームページからご確認ください。

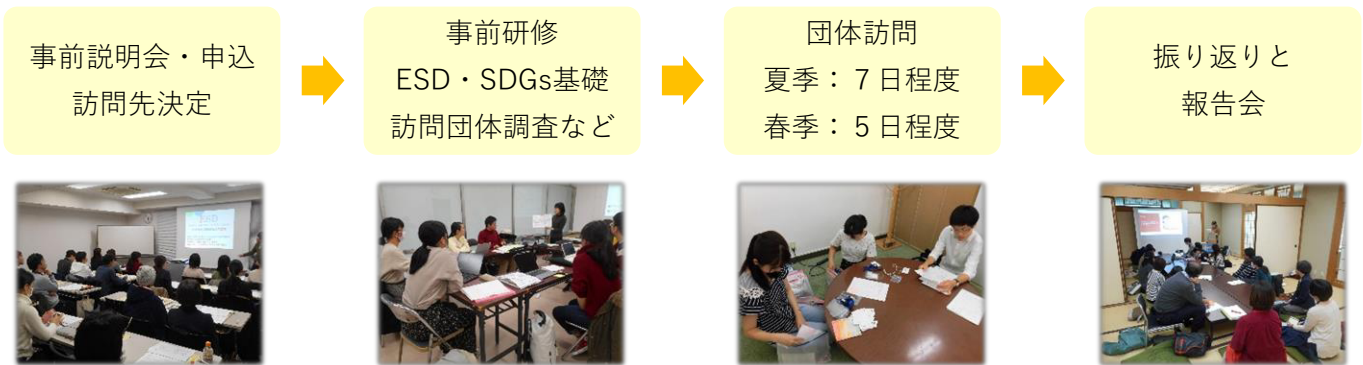


◇ESD学生インターンシップ

ESD学生インターンシップとは？

現代の社会や岡山市が抱える問題を解決するために地域課題と向き合う活動をしているNPOや公民館などで取組を経験し、課題解決における自分自身の役割を考えながらESDの実践やSDGsの取組につなげていくことを目的とした学生対象のインターンシップ・プログラムです。

◎インターンシップの流れ



◎2015年度～2019年度の実績

参加学生

のべ **83** 名

岡山大学、ノートルダム清心女子大学、岡山理科大学、就実大学、岡山商科大学など



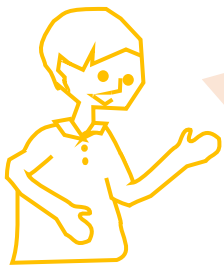
受入団体

のべ **76** 団体

岡山市立公民館、NPO(NPO法人、一般社団法人、社会福祉法人等)、株式会社など



参加した学生の声



訪問先：NPO法人岡山市子どもセンター

事前研修では、一人ひとりの個性が輝き夢や希望が語れる社会の実現に向けて活動されていることを調べました。

おかやまプレーパークでは、子ども達がのびのびと遊ぶことを大切にしていました。同じ場所でも、みんな違う遊び方をされていて、子どもの主体性が尊重されていると感じました。

訪問を終えて、今後は地域のボランティアやイベントに積極的に参加して、得たことを他に活かしたいと思いました。自分も地域の担い手であることを忘れずに、多くのことにチャレンジしたいです。



訪問先：岡山市立岡輝公民館

公民館に行く前までは、何をしている場所なのかわからず、入りづらい、お年寄りが多いというイメージがありました。

インターンシップ期間中は、公民館主催講座や若者の公民館への参画に関する会議、困りごと解決のための活動に関する会議などに参加しました。元気な利用者が多く、職員と距離が近いこと、子どもが気軽に利用していることがわかりました。

受け身ではなく、主体的に地域に「参画」していくことで、楽しさを見つけながら地域に関わることができると感じました。



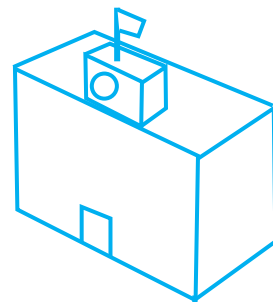
ESD・市民協働推進センター

ESD・市民協働推進センターは「協働を推進するためのコーディネート機関」です。人材育成、情報共有および交流機会の創出、社会課題解決のための取組の推進などを担います。

相談
提案

情報
収集

事業
参加



令和元年度 地域協働フォーラム

「伝統芸能継承活動を通じた地域コミュニティの持続可能性を考える」を開催しました。



令和2年1月19日(日)、勤労者福祉センターにて、地域協働フォーラム「伝統芸能継承活動を通じた地域コミュニティの持続可能性を考える」を開催しました。

地域の伝統芸能の継承活動に取り組まれている岡山市内および岡山連携中枢都市圏の市町のみなさんから、活動紹介や活動を通して地域の持続可能性に寄与している点などをお話いただきました。

どの発表も、取り組まれている方々の熱気が伝わってくるもので、地域への愛情と、活動が地域を支えているという誇りが感じられました。

フォーラム終了後には、参加者同士が他の地域の方と情報交換しようと、会場のあちらこちらで熱心に話し込む姿が見られました。地域の伝統芸能を守り伝える活動は、子孫へ良い社会を残したいという思いと共鳴し、地域コミュニティを持続させていくことの支えになっていると、参加者から異口同音に聞くことができたフォーラムでした。

—登壇者—

講師：三浦健志先生（岡山大学 名誉教授）

発表：御津獅子舞継承活動実行委員会（岡山市／石原栄さん）

建部町伝統芸能伝承保存会（岡山市／延江耕一さん）

波知獅子舞保存会（玉野市／廣畑一夫さん）

喜之助人形劇フェスタ市民実行委員会（瀬戸内市／藤原泰之さん）

吉守組（真庭市／入澤真土さん）



★お知らせ★

◇ おかやまSDGsアワード2020 取組募集中

身近で取り組まれているSDGsの取組を募集しています。応募要項などの詳細は「おかやまESDなび」からご覧いただけます。



応募締切：9月30日（水）

お問合せ：岡山市SDGs・ESD推進課

TEL 086-803-1354

◇ 「つながる協働ひろば」を活用しよう！

①情報提供

イベント情報やボランティア募集情報などを投稿フォームから投稿することで、ホームページに情報を掲載することができます。

②団体情報の掲載

「おかやま団体検索サイト」に情報を登録して活動をPRすることができます。

発行・問合せ：ESD・市民協働推進センター

岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市役所2階 市民協働企画総務課内

TEL : 086-803-1062 / 070-5055-7589

E-mail : esd-smc@googlegroups.com

最新情報は
「つながる協働ひろば」
で検索！



令和2年8月1日発行